

医学研究実施のお知らせ

函館五稜郭病院（循環器内科）では倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を得て以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究について詳しくお知りになりたい場合、この研究に資料や情報を利用することをご了解できない場合には【問い合わせ先】へご連絡下さい。

【研究課題名】 維持透析患者の冠動脈新規病変に対する薬剤塗布バルーン（Drug coated balloon : DCB）の有効性の検討

【研究の概要】

●目的

維持透析患者に対する薬剤溶出性バルーン使用の対象病変や治療成績を後ろ向きに検討することにより、安全性を評価し、また慢性期の効果を評価し、今後の適正使用のための改善点を検討することを目的とします。

●研究の対象となる方

2016年6月から2019年9月末までに循環器科にて虚血性心疾患と診断され、経皮的冠動脈形成術（心臓カテーテル治療）治療を受けられた維持透析中の方

●研究に利用する試料、情報等

情報：診断名、年齢、性別、治療手技内容等の情報を提供します。

●研究代表施設と研究責任者

北海道循環器病院 循環器内科 舟山 直宏

●施設研究責任者

函館五稜郭病院 循環器内科 村椿 真悟

●情報の公開と個人情報の取り扱い

お名前や連絡先などの個人情報がでることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、北海道循環器病院へ送付され、厳重に保管されます。また研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ先 （対応時間：平日9:00～17:00）

函館五稜郭病院 循環器内科

研究責任者：村椿 真悟 電話：0138-51-2295（病院代表番号）